

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	近例	修正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
98	2007/04/24	70087	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトントH S/UF	ウシ脾臓、心臓、 ウマ脾臓、脛肉、 ブタラード ウォーター	ウシ・米国、 ウマ・米国、 カナダ ブタ・米国、 カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News: P07-04, 2007年1月11日	FDAはBSEセーフガードとして医薬品や医療機器で、特定のウシ原料を禁止することを提案した。禁止される原料は、30月齢以上のウシの脳、頭蓋骨、眼および脊髄、全てのウシの扁桃腺および小腸の一部、ヘタリウシの全ての部位、検査を合格していないウシの全ての部位などである。
												BSE	ProMED-mail20061227.3621	カナダAlbertaで2006年8月9日に肉用牝牛が短期間の神経学的疾患の後、死したが、8月24日にBSEと確定診断された。カナダにおける8例目のBSE牛である。このウシは8から10歳と推定された。出生に関する追跡調査が行われたが、特定することはできなかった。
												リケツチア症	ProMED-mail20061130.3391	アイオワ大学感染症科は最近6ヶ月で8例のO熟患者を診察した。州保健局は2006年だけで他に11例を報告している。過去3年間で4例であったことに比べると、発生率もしくは報告数が有意に増加している。アイオワ南東部またはイリノイ北西部に住んでいる8例の内2例はウシ、ヤギまたはウマとの明らかな接触歴があり、4例は動物との希薄な接触歴があった。
												レンサ球菌感染	ProMED-mail20070223.0668	米国の科学者は北アメリカで初めて報告されたStreptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタからもS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こすグラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれはないとしている。
99	2007/04/24	70088	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラード ウォーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感染	ProMED-mail20070223.0668	米国の科学者は北アメリカで初めて報告されたStreptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタからもS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こすグラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれはないとしている。
100	2007/04/24	70089	中外製薬	①トラスツズマブ(遺伝子組換え) ②ストレプトコッカスビオゲナス(A群3型) Su株ベニシリン処理凍結乾燥粉末	バンクレアチン	ブタ脾臓	①米国、カナダ ②日本、米国、カナダ、フランス	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感染	ProMED-mail20070223.0668	70088に同じ